

令和5年度「体育」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	全	保健体育	体育	2～3	必修
教科書	なし				
副教材	ステップアップ 高校スポーツ				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。	運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、社会的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を養う。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	Chromebook使用
------------------	--------------

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度(2023年度)保健体育科年間指導計画表

区分	単位数	時間数	1学期													2学期													3学期								
			4月			5月				6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
体育	入学年次	3	105	体づくり運動(18) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画				体育理論(2)	選択(19) 陸上競技(短距離・リレー) 器械運動(マット) 水泳(クロール・平泳ぎ)					選択(19) 武道・球技 武道(柔道・剣道) 球技(バレーボール (ハンドボール) (タグラグビー)					体育理論(2)	選択(19) 武道・球技 武道(柔道・剣道) 球技(バレーボール (ハンドボール) (タグラグビー)					体育理論(2)	陸上競技(12) 長距離走			体づくり運動(12) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画								
	その次の年次	2	70	体づくり運動(10) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画			体育理論(2)	選択(12) 陸上競技(ハードル走・砲丸投げ) 器械運動(マット) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)				武道	体育理論(2)	球技選択(12) 球技(ソフトボール・バドミントン・サッカー バレーボール・ハンドボール・バスケットボール)					(柔道・剣道)・ダンス(創作ダンス・現代的なリズムダンス)(14)			体育理論(2)	陸上競技(10) 長距離走			体づくり運動(6) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画											
	それ以降の年次以降	2	70	体づくり運動(15) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画			体育理論(3)	選択(17) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール サッカー・ハンドボール・バスケットボール)					球技選択(17) 球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール サッカー・ハンドボール・バスケットボール)					体育理論(3)			陸上競技(10) 長距離走			体づくり運動(5) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画													
体育的行事			運動会			新体力テスト			クラスマッチ			強歩会			クラスマッチ			クラスマッチ																			

令和5年度「保健」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	全	保健体育	保健	1	必修
教科書	高等学校 保健体育Textbook, Activity (第一学習社)				
副教材	保健体育ノート(第一学習社)				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	Chromebook使用
------------------	--------------

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (G・E)	I : 知識理解	C : 思考判断表現	E : 学びに向かう力・人間性等
第1学期	4	第2章 安全な社会生活 第1節 安全な社会づくり 1. 交通事故と安全の確保 (教p.48~49)	・交通事故を防止するためには、車両の特性の理解、安全な運転や、歩行などの適切な行動が重要であることについての理解を深める。		交通事故を防止するために必要な行動について知り、事故を回避するための、適切な行動を選択できる。	○	○	○
	5	第2節 応急手当 1. 適切な応急手当の手順 (教p.52~53)	・応急手当の重要性を知り、傷病者の観察や応急手当の正しい手順についての理解を深める。		実際の手当が必要な傷病者に遭遇した場合に、必要な行動を適切に選択することができる。	○	○	○
	6	2. 心肺蘇生法の実践 (教p.54~55) 3. 日常的な応急手当 (教p.56~57)	・胸骨圧迫・気道の確保・人工呼吸の心肺蘇生と除細動を加えた心肺蘇生法について、正しい手法を理解し、身につけることができるようにする。	期末考査	心肺蘇生法が必要な傷病者に対して、必要な行動を適切に選択することができる。	○	○	○
	7	第1章 現代社会と健康 第1節 健康の考え方 1. 国民の健康水準の向上と変化する健康課題 (教p.6~7) 2. 健康の保持増進とヘルスプロモーション (教p.8~9)	・死因別にみた、わが国の死亡率や患者の病気の傾向について理解できる。 ・新しい病気の傾向について、具体的な事例を踏まえて理解できる。 ・「ヘルスプロモーション」の定義について理解することができる。 ・健康を保持・増進するための環境について理解することができる		日常生活において、自らの健康を考えて、病気を予防しようとするることができる健康増進の取り組みについて、自らの生活に当てはめて考え、積極的に健康増進を図ろうとすることができる。	○	○	○
第2学期	9	第4節 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 1. 喫煙と健康 (教p.26~27) 2. 飲酒と健康 (教p.28~29) 3. 薬物乱用とその防止 (教p.32~33)	・喫煙者本人のみでなく、周囲の人への健康影響などについて理解を深め、喫煙に関する適切な意志決定や行動選択をできるようにする。 ・アルコールの作用や、それに伴う健康障害についての理解を深め、飲酒に関する適切な意志決定や行動選択をできるようにする。 ・薬物乱用は、心身の健康に対して深刻な影響を与えることを理解し、絶対に薬物に手を出さない強い意志を身につけることができるようにする。		喫煙による健康への影響だけでなく、喫煙マナーのあり方についても考えることができる飲酒による身体器官への影響だけでなく、精神的な影響についても考えることができる。薬物乱用を防ぐためには、どのような意識をもつことが重要であるかを考えることができる。	○	○	○
	10	第2節 現代の感染症とその予防 1. 感染症の予防 (教p.10~11) 2. 性感染症とその予防 (教p.14~15)	・感染症を防ぐための対策について、感染の仕組みとともに、正しい知識をもつことができる。 ・性感染症の予防について正しく理解することができる。 ・HIV感染症・エイズの治療法を正しく理解することができる。		感染症の現状を知り、予防するための方策について考えるとともに、人権への配慮ができる。性感染症を予防するための方策について考えるとともに、人権への配慮ができる。	○	○	○
	11	第3節 生活習慣病などの予防と回復 1. 生活習慣病の予防 (教p.16~17)	・生活習慣病の原因と、その予防に関する3つの段階について正しく理解することができる。	期末考査	自らの生活習慣をかえりみて、生活習慣病予防のための適切な行動を選択することができる。	○	○	○
	12	4. がんの発生と予防 (教p.22~23) 第5節 精神疾患の予防と回復 1. 脳と神経の働き (教p.36~37)	・がんを早期に見出すことの重要性について知り、がんの予防や治療に関する正しい知識をもつことができる。 ・がんの発生のメカニズム、発がん物質、また発がんの原因となる行動を知り、その予防と治療法についての理解を深める ・人間の行動や精神活動などの全てをコントロールしている。脳・神経系・内分泌系の各部の働きについての理解を深める		がんの予防について、生活習慣との関わりを相互に考えることができる。自らの行動と、そのときの脳の働きについて、関連づけて考えることができる。	○	○	○
第3学期	1	2. 欲求不満と適応機制 (教p.38~39)	・人間の欲求は様々なものがあるが、その全てが満たされるものではないため、欲求不満に対する耐性を身につけることの重要性についての理解を深める		欲求不満を回避するために自らがとった行動を、適応機制と関連づけて考えることができる。	○	○	○
	2	3. 心の健康と精神疾患 (教p.40~41) 4. 精神疾患の予防と回復のために (教p.42~43)	・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、精神活動が不全になった状態であることについて理解を深める ・精神疾患は誰しもが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な処置により回復が可能であることについて理解を深める	学年末考査	心の不調について、自らの体験と関連づけて考えることができる精神疾患の予防と回復について、習得した知識をもとに心身の健康を保つための行動や対策について考えることができる。	○	○	○
	3	2. 安全・安心な社会づくり (教p.50~51)	・安全に暮らすための対策を知り、意識や行動についての理解を深める		安全・安心な社会づくりのために行われている対策について知り、安全に暮らすための行動を適切に選択することができる。	○	○	○

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「体育」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	全	保健体育	体育	2	必修
教科書	なし				
副教材	ステップアップ 高校スポーツ				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、社会的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を養う。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	6	2	2
主な 評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	Chromebook使用
------------------	--------------

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度(2023年度)保健体育科年間指導計画表

区分	単位数	時間数	1学期													2学期													3学期								
			4月			5月				6月				7月		9月			10月				11月			12月			1月			2月			3月		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
体育	入学年次	3	105	体づくり運動(18) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画				体育理論(2)	選択(19) 陸上競技(短距離・リレー) 器械運動(マット) 水泳(クロール・平泳ぎ)					選択(19) 武道・球技 武道(柔道・剣道) 球技(バレーボール (ハンドボール) (タグラグビー)				体育理論(2)	選択(19) 武道・球技 武道(柔道・剣道) 球技(バレーボール (ハンドボール) (タグラグビー)				体育理論(2)	陸上競技(12) 長距離走			体づくり運動(12) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画										
	その次の年次	2	70	体づくり運動(10) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画			体育理論(2)	選択(12) 陸上競技(ハードル走・砲丸投げ) 器械運動(マット) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)				武道	体育理論(2)	球技選択(12) 球技(ソフトボール・バドミントン・サッカー バレーボール・ハンドボール・バスケットボール)				(柔道・剣道)・ダンス(創作ダンス・現代的なリズムダンス)(14)				体育理論(2)	陸上競技(10) 長距離走			体づくり運動(6) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画											
	それ以降の年次以降	2	70	体づくり運動(15) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画			体育理論(3)	選択(17) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール サッカー・ハンドボール・バスケットボール)					球技選択(17) 球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール サッカー・ハンドボール・バスケットボール)				体育理論(3)				陸上競技(10) 長距離走			体づくり運動(5) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画													
体育的行事			運動会			新体力テスト			クラスマッチ			強歩会			クラスマッチ			クラスマッチ																			

令和5年度「保健」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	全	保健体育	保健	1	必修
教科書	高等学校 保健体育Textbook, Activity (第一学習社)				
副教材	保健体育ノート(第一学習社)				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	Chromebook使用
------------------	--------------

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (O・E)	I：知識理解	C：思考判断表現	E：学びに向かう力・人間性等
第1学期	4	第3章 生涯を通じる ①健康思春期と健康 P 64 ②思春期の体と健康 P 66	心身ともに大人への過渡期である思春期に起こる心の成長について、男女の意識の違いなども含めて理解を深める。		(1)思春期に起こる心の変化や性意識の男女差について、正しい知識をもつことができる。 (2)男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映することができる。 (3)思春期の心の変化について知るとともに、男女の性意識の違いについても積極的に学習できる。	○	○	○
	5	③結婚生活と健康 P 68 ④新しい生命の誕生 P 70	結婚に関する制度を知るとともに、家族の健康を保つために、どのような対策が必要であるかについての理解を深める。受精のメカニズムを知り、妊娠から出産までの過程と、胎児と母体の変化についての理解を深める。		(1)受精の仕組み、妊娠の経過、出産の過程について男女とも正しい知識をもつことができる。 (2)女性は、自らが経験するかもしれないこととして、男性も課題を見つけて考えることができる。 (3)受精から妊娠、出産までの過程のメカニズムについて、教科書などから積極的に調べるができる。	○	○	○
	6	⑤家族計画と不妊治療 P70 子どもを健康に産み育てるには P 74	家族計画の意義や不妊治療の特徴などを知り、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響および、人工授精・体外受精などの問題点についても理解を深める。	期末考査	(1)人工妊娠中絶による影響や生殖補助医療技術の発達による新たな問題について、正しく理解できる。 (2)家族計画の重要性を認識し、自らの将来に当てはめて考えることができる。 (3)家族計画を立てることの重要性を理解し、人工妊娠中絶による心身への影響などについても積極的に学習できる。	○	○	○
	7	⑥環境汚染の広がりとその影響 P 88	私たちが取り巻く環境についての歴史を知り、生物多様性の保持の重要性や、近年の人間活動による汚染の急増、地球環境問題などについての理解を深める。		(1)地球環境の歴史と、生物多様性保持の重要性について正しい知識をもつことができる。また、環境汚染の現状などについて、正しい知識をもつことができる。 (2)地球環境問題の原因を知り、解決のために必要な行動について考えることができる。 (3)地球環境の変化の歴史と、現在の問題点について、積極的に課題を見つけることができる。	○	○	○
第2学期	9	⑦大気汚染の健康への影響と対策 P 90	大気汚染の原因を知るとともに、大気汚染によって引き起こされる健康被害について考え、大気汚染防止のための対策についての理解を深める。		(1)地球環境の歴史と、生物多様性保持の重要性について正しい知識をもつことができる。また、環境汚染の現状などについて、正しい知識をもつことができる。 (2)地球環境問題の原因を知り、解決のために必要な行動について考えることができる。 (3)地球環境の変化の歴史と、現在の問題点について、積極的に課題を見つけることができる。	○	○	○
	10	⑧水質汚濁と土壌汚染の健康への影響と対策 P 92	水質汚濁や土壌汚染の現状・防止対策について知るとともに、公害などによる健康被害についても理解を深める。		(1)自然環境の水を通じた循環について知り、水や土壌の汚染が発生の経過や、防止のために行われている対策などについて、正しい知識をもつことができる。 (2)水質汚濁や土壌汚染を防止するために、私たちが行うことができる身近な対策を考え、自らの行動に反映することができる。 (3)水質汚濁や土壌汚染による健康被害について、その原因と対策を積極的に調べるすることができる。	○	○	○
	11	⑨廃棄物の処理と健康 P 94	産業廃棄物を処理する過程での不法投棄や不法な焼却などの問題点を知り、産業廃棄物による環境汚染を防ぐための施策についての理解を深める。	期末考査	(1)有害な化学物質による健康被害の危険性や、それらの管理方法について正しい知識をもつことができる。 (2)産業廃棄物問題を自らの健康にも直接かかわる問題として捉え、考えることができる。 (3)産業廃棄物処理問題の構造と、その解決策について、積極的に課題を見つけ、学習することができる。	○	○	○
	12	⑩環境衛生活動 P 96 ゴミが環境を破壊する？	わが国における上下水道の整備状況やゴミ処理方法について理解を深めるとともに、ゴミを少なくするための方策についての理解を深める。		(1)ゴミ処理の4つの方法や上下水道の仕組みなどについて、正しい知識をもつことができる。また、ゴミの減量化に向けた3R運動などの取り組みについて、正しい知識をもつことができる。 (2)上下水道の設備やゴミの分別など、身近な問題として捉え、考えることができる。 (3)環境衛生向上のための上下水道の整備方法やゴミ処理方法について、積極的に課題を見つけ、学習できる。	○	○	○
第3学期	1	⑪保健・医療制度 P 102	わが国で行われている、保健行政について具体的な施策を知るとともに、医療制度の仕組みやサービスについても理解を深める。 (1)わが国の保健行政・医療制度などについての、正しい知識をもつことができる。 (2)わが国の保健・医療に関する制度について、自らの健康の保持・増進に直接かかわるものとして捉え、考えることができる。 (3)わが国の保健行政や医療制度などについて、その具体的な施策などを、積極的に調べることができる。		(1)わが国の保健行政・医療制度などについての、正しい知識をもつことができる。 (2)わが国の保健・医療に関する制度について、自らの健康の保持・増進に直接かかわるものとして捉え、考えることができる。 (3)わが国の保健行政や医療制度などについて、その具体的な施策などを、積極的に調べることができる。	○	○	○
	2	⑫地域の保健機関・医療機関の活用 P 104	私たちの身の回りにおける保健機関・医療機関について、それぞれの機関がもつ役割について理解を深め、活用できるようにする。	学年末考査	(1)保健・医療機関がそれぞれもっている役割やサービスについて、正しい知識をもつことができる。 (2)保健・医療機関の利用方法について理解し、自らの生活のなかで適切に利用することができる。 (3)身近にある保健・医療機関の役割や場所、医療機関の利用法などを、積極的に調べることができる。	○	○	○
	3	⑬なぜ献血・贈位移植が必要なのだろうか？	16歳から献血は実施できる。献血事業は市民の任意ではあるが、輸血や血液製剤を必要としている患者はたくさんいる。国内の献血事情について理解する		(1) 総献血者数は近年減少している。現状を調べる (2) 臓器移植法の必要性と法的脳死判定について調べる。	○	○	○

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「体育」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	全	保健体育	体育	2～3	必修
教科書	なし				
副教材	ステップアップ 高校スポーツ				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、社会的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を養う。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	(I) / (C) / (E)		(E)
主な 評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	Chromebook使用
------------------	--------------

※備考 二高ICEモデルとは？	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度(2023年度)保健体育科年間指導計画表

区分	単 位 数	時 間 数	1 学期													2 学期													3 学期								
			4 月			5 月				6 月				7 月		9 月			1 0 月				1 1 月			1 2 月		1 月			2 月			3 月			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
体 育	入 学 年 次	3	1 0 5	体づくり運動(18) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画				体育理論(2)	選択(19) 陸上競技(短距離・リレー) 器械運動(マット) 水泳(クロール・平泳ぎ)					選択(19) 武道・球技 武道(柔道・剣道) 球技(バレーボール (ハンドボール) (タグラグビー)				体育理論(2)	選択(19) 武道・球技 武道(柔道・剣道) 球技(バレーボール (ハンドボール) (タグラグビー)					体育理論(2)	陸上競技(12) 長距離走			体づくり運動(12) 体ほぐしの運動 実生活に生かす 運動の計画									
	そ の 次 の 年 次	2	7 0	体づくり運動(10) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の 計画			体育理論(2)	選択(12) 陸上競技(ハードル走・砲丸投げ) 器械運動(マット) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)				体育理論(2)	球技選択(12) 球技(ソフトボール・バドミントン・サッカー バレーボール・ハンドボール・バスケットボール) (柔道・剣道)・ダンス(創作ダンス・現代的なリズムダンス)(14)				体育理論(2)	陸上競技(10) 長距離走			体づくり運動(6) 体ほぐしの運動 実生活に生かす 運動の計画																
	そ れ 以 降 の 年 次 以 降	2	7 0	体づくり運動(15) 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の 計画			体育理論(3)	選択(17) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール サッカー・ハンドボール・バスケットボール)					球技選択(17) 球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール サッカー・ハンドボール・バスケットボール)				体育理論(3)	陸上競技(10) 長距離走			体づくり運動(5) 体ほぐしの運動 実生活に生かす 運動の計画																
体育的行事			運動会			新体カテ スト			クラ スマ マッ チ			強歩 会			クラ スマ マッ チ			クラ スマ マッ チ																			